

平成26年度 東海シンポジウム
主題＝キラル高分子の合成、物性、応用技術

＜趣旨＞天然高分子の多くはキラリティーを有しており、高分子の物性にも大きく影響を与えています。合成高分子に関しては、精密合成技術や構造制御技術の進歩により優れた機能や性能を持つ高分子材料が次々と提案されています。しかしながら、合成高分子にキラリティーを積極的に導入し、キラリティーを制御し、キラリティーに基づく機能を引き出す方法論については、まだ多くの可能性を残していると考えられます。天然キラル高分子の性能を利用し、その構造と機能の関係を把握するとともに、天然には無いキラリティーを合成高分子に導入することで、高分子の高度な機能を実現できるものと考えられます。高分子とキラリティーの問題について改めて現状を把握するとともに、新機能に向けて詳細な検討が必要とされています。

本シンポジウムでは、次世代の科学技術、産業を支えるキラルテクノロジーの確立を目指して、高分子とキラリティーについて様々な視点から、最新の研究成果を紹介していただきます。それらをもとに、高分子科学の新たな展開、新しい高度な機能の創出について議論する場として、有用な機会になるものと考えます。多数の方々のご参加をお願いいたします。

主 催 高分子学会東海支部

協 賛 日本化学会東海支部 東海化学工業会 有機合成化学協会東海支部 繊維学会東海支部

(予定) 日本接着学会中部支部 日本分析化学会中部支部 色材協会中部支部 化学工学会東海支部

プラスチック成形加工学会 日本レオロジー学会 日本繊維機械学会東海支部

自動車技術会中部支部

日 時 2015年1月15日(木)、1月16日(金)

会 場 名古屋国際会議場 232号室 (名古屋市熱田区熱田西町1-1 ☎ 052-683-7711)

交 通 名古屋駅から①地下鉄東山線栄駅または桜通線久屋大通駅で名城線に乗り換え、日比野駅または西高蔵駅下車、徒歩5分。②JRまたは名鉄で金山駅下車、地下鉄名城線に乗り換え、日比野駅または西高蔵駅下車、徒歩5分。

第1日＝1月15日(木)

＜10:00～12:10＞

はじめに

(豊橋技術科学大学) 伊津野 真一

A. キラル高分子の機能

1) 高分子らせんキラリティーのスイッチングを利用した触媒・光機能 (京都大学) 杉野目 道紀

2) 高分子へのラセン誘起と記憶効果：その機構の解明とキラル材料への応用

(名古屋大学) 八島 栄次

＜13:10～16:10＞

B. 共役系キラル高分子

- 3) 光学活性共役高分子の合成と高次構造制御 (関西大学) 三田 文雄
4) 化学的不斉源、物理的不斉源による円偏光増強発光高分子凝集体の発生と制御 (奈良先端大) 藤木 道也
5) ラセン共役ポリマーの合成と超階層構造制御 (京都大学) 赤木 和夫

第2日=1月16日(金)

<9:30~12:30>

C. キラル高分子の応用

- 6) テラマック バイオマス素材エコマテリアル (ユニチカ) 上田 一恵
7) 多糖誘導体ポリマー材料による高いキラル識別能力とその応用 (ダイセル) 大西 敦
8) 環状カルボジイミドの開発 (帝人) 庄司 信一郎

<13:30~16:30>

D. バイオポリマー材料

- 9) 無機・有機ナノハイブリッド型バイオベースポリマー (京都工芸繊維大学) 木村 良晴
10) ポリ乳酸と置換型ポリ乳酸のステレオコンプレックス形成 (豊橋技術科学大学) 辻 秀人
11) バイオ樹脂アロイ (PP/PA11) ~相構造制御による剛性と耐衝撃性の両立~ (豊田中央研究所) 河田 順平

参加要領

- 1) 定員 100 名
2) 参加費 (含予稿集代) ①企業 10,000 円 ②大学・官公庁 5,000 円 ③学生 無料
3) 申込方法 高分子学会東海支部が所属している化学関係学協会合同事務局のホームページ (<http://www.c-goudou.org/>) の「平成 26 年度東海シンポジウム」の案内からお申し込みください。
参加費は、銀行振込 (三井住友銀行名古屋支店普通預金口座5557774 高分子学会東海支部) でお支払いください。
4) 申込締切 1月9日(金)

申込先

〒460-0011 名古屋市中区大須一丁目 35 番 18 号 一光大須ビル (公財) 中部科学技術センター内
高分子学会東海支部 東海シンポジウム係宛
☎ 052-231-3070 FAX 052-204-1469 E-mail y.habaue@c-goudou.org